

平成30年度

予算

予算総額前年比6.14%減

214億7,178万8千円

一般会計予算前年比3.15%増

131億円

企画財政課

TEL22-6825

会計名	平成30年度 a	平成29年度 b	比較	
			金額 a-b	率 a/b-1
一般会計	131億円	127億円	4億円	3.15%
国民健康保険特別会計	31億5,100万円	40億8,800万円	△9億3,700万円	△22.92%
介護保険特別会計	26億3,152万円	26億5,200万円	△2,048万円	△0.77%
後期高齢者医療特別会計	3億2,600万円	3億1,011万円	1,589万円	5.13%
簡易水道事業特別会計	1億163万円	1億944万円	△781万円	△7.14%
農業集落排水事業特別会計	4億9,492万円	5億58万円	△566万円	△1.13%
公共下水道事業特別会計	6億3,173万円	13億8,217万円	△7億5,044万円	△54.29%
高富財産区特別会計	270万円	210万円	60万円	28.57%
水道事業会計	10億3,229万円	11億3,130万円	9,901万円	△8.75%
予算総額	214億7,179万円	228億7,569万円	△14億390万円	△6.14%

会計別予算額内訳表

※予算は千円単位のため端数処理をしています。

市長施政方針の要旨(平成30年第1回定例会)

「本市の行財政状況」

本市の借金総額は、平成29年度末に本市発足以来最少額となり、平成30年度末はこれを更新する予定です。他方、本市最大歳入の地方交付税は、今後も減額が続く、しばらくは厳しい財政状況が続いていきます。

こうした中、インターネットの供用開始が近づいており、これを最大限に活用し、これを契機とした施策について、時機を逸することのないよう推進してまいります。

本市の地方創生

最近、「定住人口」「交流人口」でない「関係人口」という言葉が注目されてきており、移住・定住人口を増加させるため、中長期的な視点の下、多様なライフステージを踏まえたさまざまな支援策を推進してまいります。

また、昨年末本市で開催された「リソースを活用した政策立案ワークショップ」での提言「市内企業の労働生産性向上、魅力ある職場づくりの促進を、子育て環境の充実度とともに市内外へ効果的に発信して移住・

定住促進」も推進してまいります。

そして、「子育て・結婚・出産支援」「労働生産性向上」「魅力ある職場」「移住支援」と「効果的な魅力発信による認知度向上」の掛け算、好循環を目指してまいります。

今後の市政運営

現在の公共施設を全て更新していくことは不可能であり、市公共施設等総合管理計画に基づく「個別計画」を策定し、延床面積削減と施設寿命の延長などの施設マネジメントを推進し、連携中枢都市圏形成による双務的・水平的補完の機能の向上を目指すとともに、「子育て支援課」新設などの組織再編をします。

しかし、「ふるさと山県」の持続発展は行政だけの力では不可能であり、多様な団体、関係者による相乗効果を目指し、誰もが、差別なく、意欲と能力に応じて就労や社会参加ができるような地域社会づくりを目指してまいりますので、今後とも御指導と御協力をお願い申し上げます。

市民一人あたり予算額

約474,346円／人

人口は平成30年2月1日現在の
住民基本台帳人口 27,617人

主な歳入

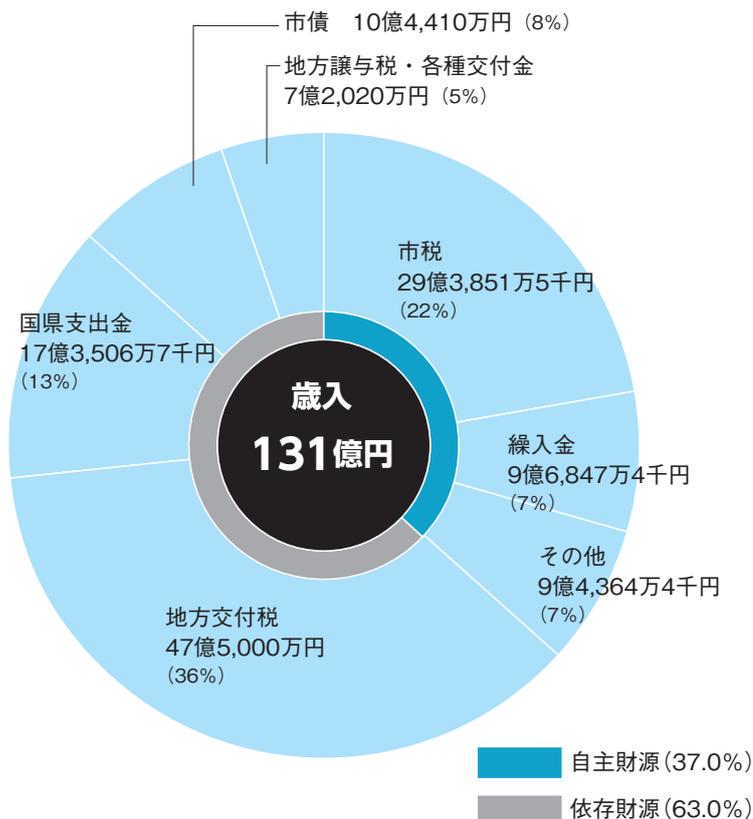
市税106,402円／地方交付税171,996円／繰入金35,068円／市債37,806円／国県支出金62,826円

主な歳出

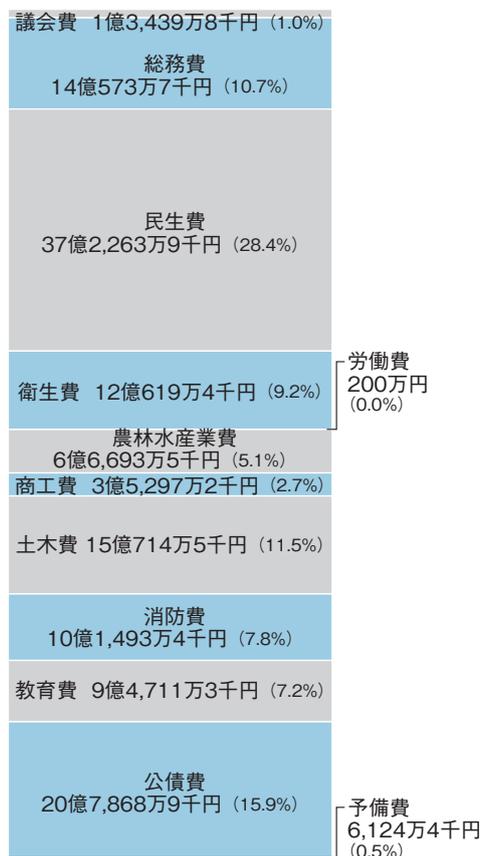
市議会の運営など4,866円／庁舎管理、広報、選挙、戸籍など50,901円／高齢者・障がい者・児童福祉など134,795円／保健、環境、ごみ処理など43,676円／農林業、観光、商工業の振興など36,930円／道路、河川、公園など54,573円／消防、防災など36,750円／学校教育、社会教育、社会体育など34,295円／市債の償還金75,268円

※数値は、四捨五入をしているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合があります。

一般会計歳入



一般会計歳出(目的別)



※数値は、四捨五入をしているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合があります。

一般会計歳出(性質別)

